

平成28年県民意識調査結果（テーマ別）

【概要版】

平成29年3月
宮 城 県

目 次

1 テーマ別項目	1
(1) 宮城の治安と防犯について.....	1
① 宮城の治安について	1
② 宮城の防犯について	5
(2) 障害を理由とする差別等について.....	7

1 テーマ別項目

テーマ別項目として、「宮城の治安と防犯について」及び「障害を理由とする差別等について」を調査したところ次のような結果となりました。

(1) 宮城の治安と防犯について

①宮城の治安について

調査結果の概要

【宮城県の治安の実感について】

- 県全体で、宮城県の治安について、「良い (14.4%)」又は「どちらかといえば良い (60.2%)」と回答している割合の合計は、74.6%となっています。
- 一方で、「どちらかといえば悪い (11.9%)」又は「悪い (2.4%)」と回答している割合の合計は、14.3%となっています。

【宮城県の治安を悪いと感じる理由】

- 県全体で、宮城県の治安について「どちらかといえば悪い」又は「悪い」の回答のうち、「宮城県の治安を悪いと感じる理由」の割合が最も高かったのは、「事件や事故が多くなったと感じるから (34.6%)」で、次いで「身近な場所で犯罪が発生しているから(21.2%)」、「警察官のパトロール活動が十分ではないから(14.2%)」の順となっています。

【重点的に取り締まってほしい犯罪】

- 県全体で、「重点的に取り締まってほしい犯罪」の割合が最も高かったのは、「振り込め詐欺や悪質商法などの詐欺 (15.3%)」で、次いで「飲酒運転, ひき逃げなどの悪質・危険な交通法令違反 (13.8%)」、「殺人, 強盗などの凶悪な犯罪 (13.2%)」の順となっています。

【犯罪に遭うかもしれないと不安を感じる場所】

- 県全体で、「犯罪に遭うかもしれないと不安を感じる場所」の割合が最も高かったのは、「路上 (23.4%)」で、次いで「繁華街 (16.1%)」、「インターネット空間 (15.6%)」の順となっています。

図 1 宮城県の治安の実感について（県全体）

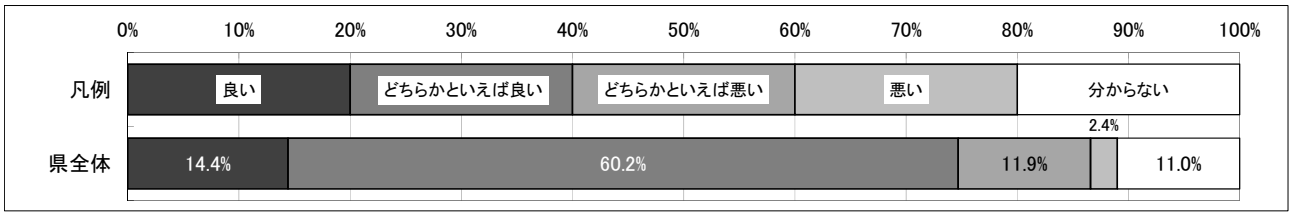


図 2 宮城県の治安を悪いと感じる理由（県全体・地域別）

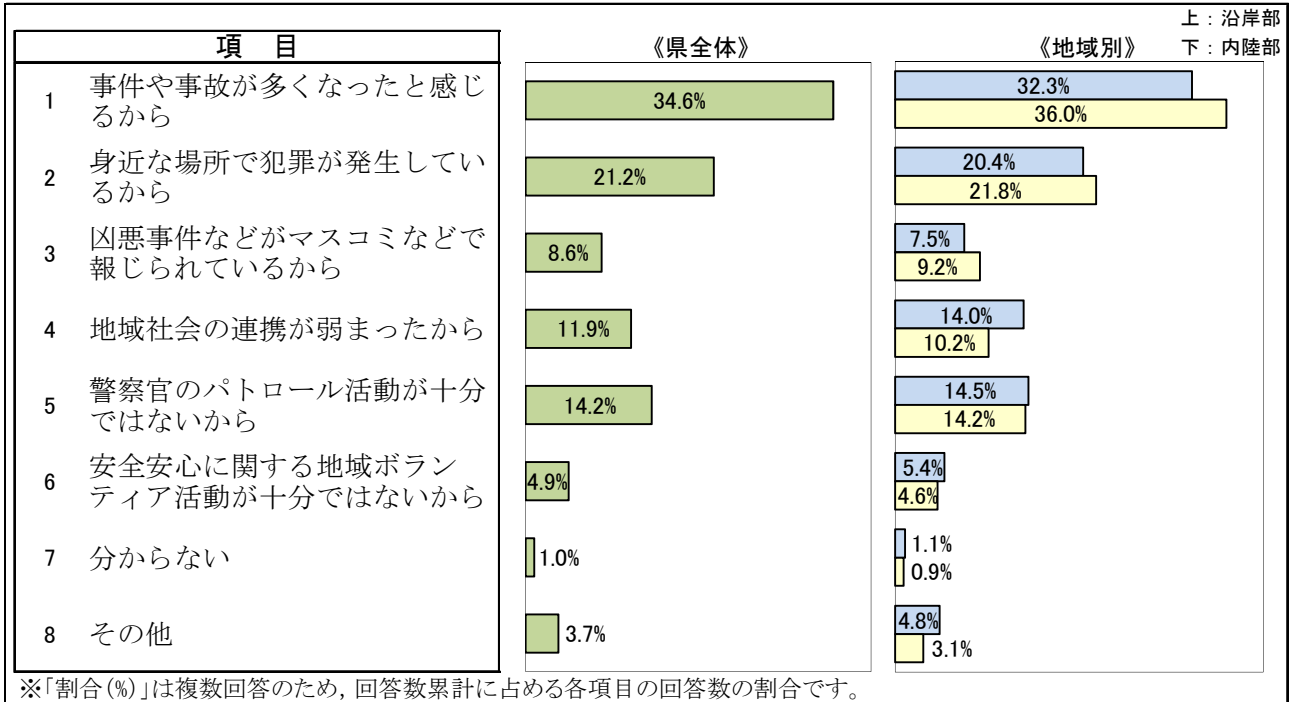


図 3 重点的に取り締まってほしい犯罪 (県全体・地域別)

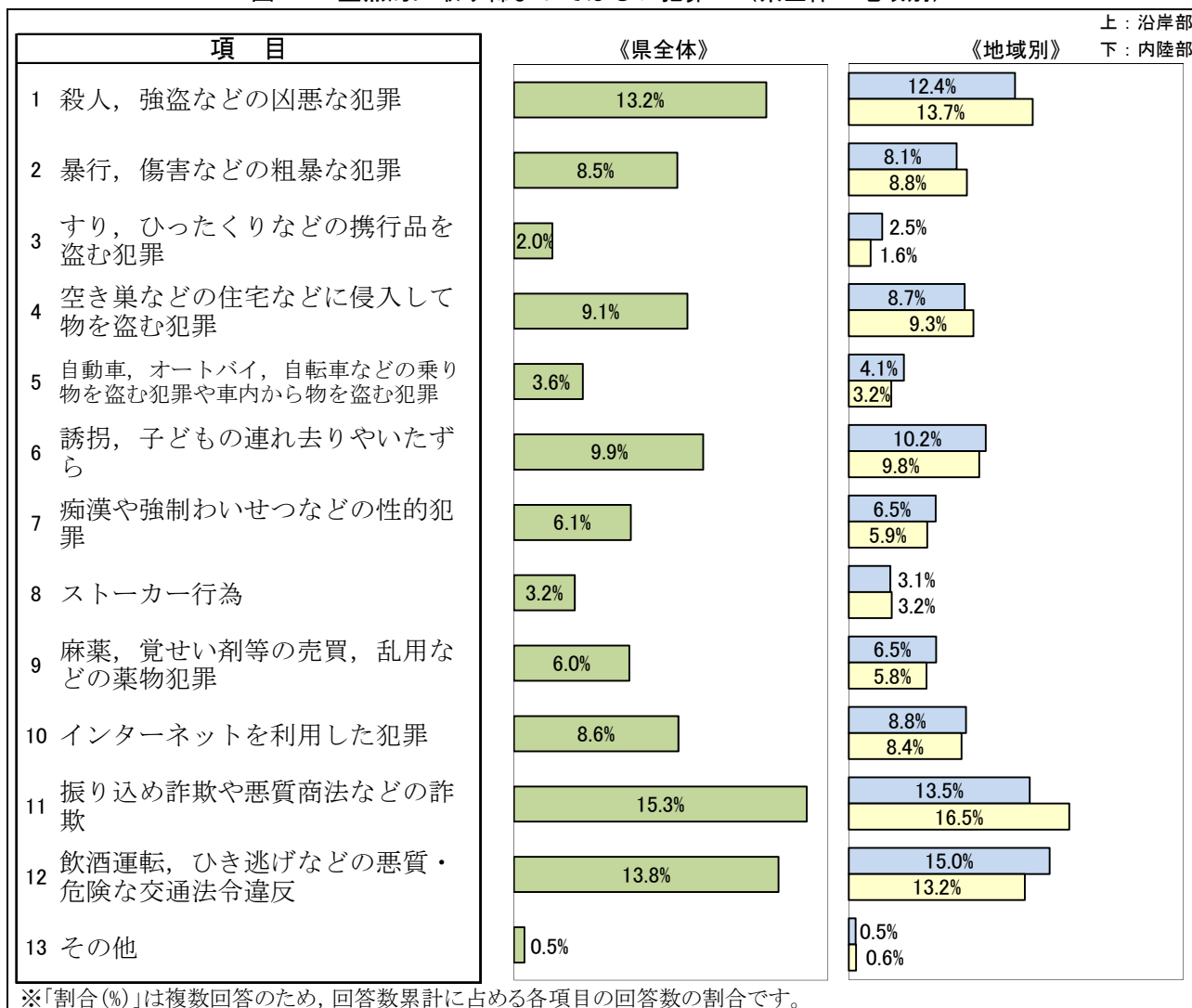
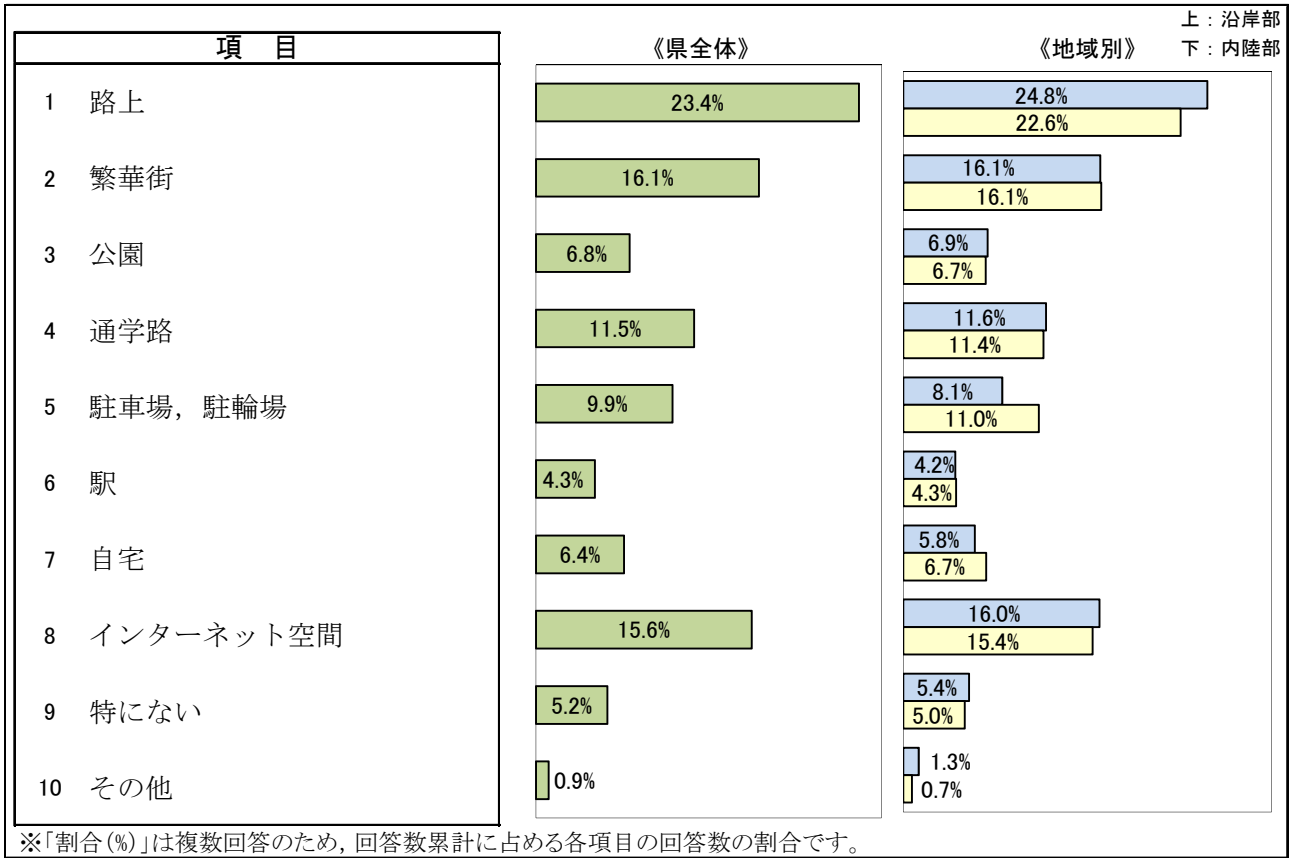


図 4 犯罪に遭うかもしれないと不安を感じる場所 (県全体・地域別)



②宮城の防犯について

調査結果の概要

【防犯カメラ設置による治安の改善について】

- 県全体で、防犯カメラ設置による治安の改善について、「効果がある（52.5%）」又は「どちらかといえば効果がある（36.8%）」と回答している割合の合計は、89.3%となっています。
- 一方で、「どちらかといえば効果はない（2.3%）」又は「効果はない（0.6%）」と回答している割合の合計は、2.9%となっています。

【防犯カメラの効果】

- 県全体で、防犯カメラ設置による治安の改善について「効果がある」又は「どちらかといえば効果がある」の回答のうち、「防犯カメラの効果」の割合が最も高かったのは、「発生した犯罪の解決に役立つ（48.9%）」で、次いで「犯罪を未然に防止できる（29.9%）」、「防犯カメラがあることで安心感を得られる（20.8%）」の順となっています。

【防犯カメラ設置による不安感について】

- 県全体で、防犯カメラ設置による不安感について、「不安を感じる（3.8%）」又は「どちらかといえば不安を感じる（13.7%）」と回答している割合の合計は、17.5%となっています。
- 一方で、「どちらかといえば不安を感じない（20.9%）」又は「不安を感じない（54.7%）」と回答している割合の合計は、75.6%となっています。

【防犯カメラ設置に不安を感じる理由】

- 県全体で、防犯カメラ設置による不安感について「不安を感じる」又は「どちらかといえば不安を感じる」の回答のうち、「防犯カメラ設置に不安を感じる理由」の割合が最も高かったのは、「記録された映像がどのように利用されているのか分からない(41.9%)」で、次いで「第三者に自分の行動を監視されている(19.3%)」、「いつ、どこで撮影されているか分からない（18.7%）」の順となっています。

【防犯カメラ設置の必要性】

- 県全体で、防犯カメラ設置の必要性について、「積極的に設置すべきだと思う（38.4%）」又は「プライバシーなどの問題に配慮した上で設置していくことが必要だと思う（54.2%）」と回答している割合の合計は、92.6%となっています。
- 一方で、「どちらかといえば設置しない方が良くと思う（1.3%）」又は「設置すべきでないと思う（0.6%）」と回答している割合の合計は、1.9%となっています。

図 5 防犯カメラ設置による治安の改善について（県全体）

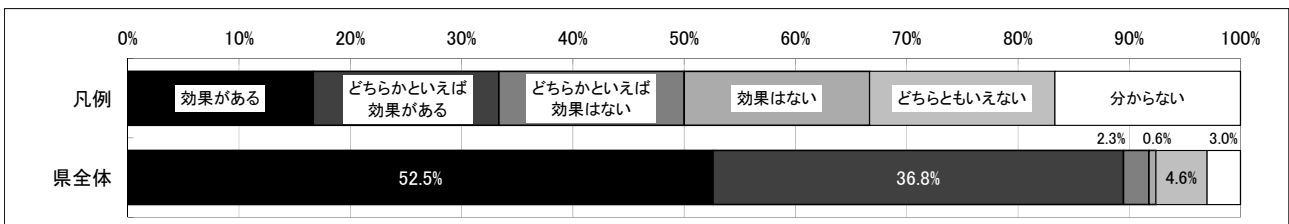


図 6 防犯カメラの効果（県全体・地域別）

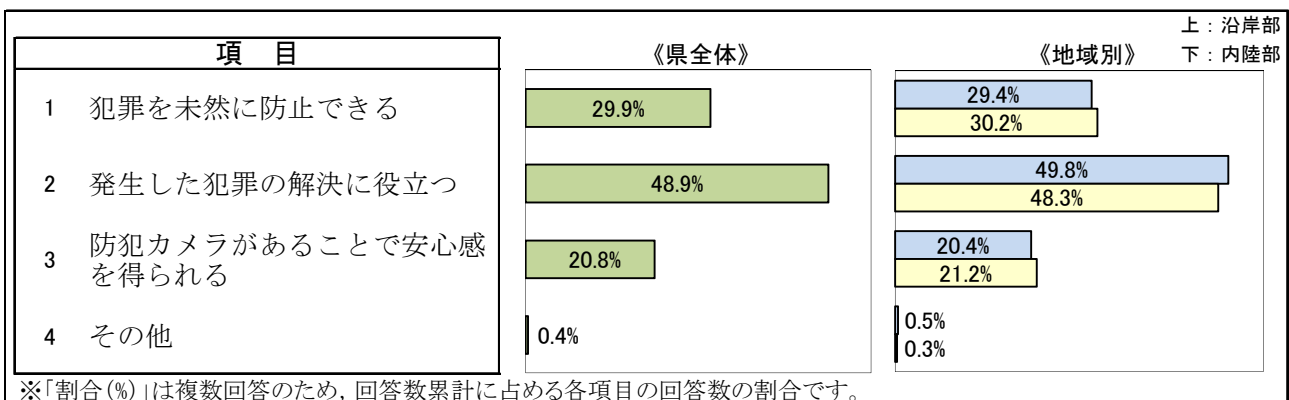


図 7 防犯カメラ設置による不安感について (県全体)

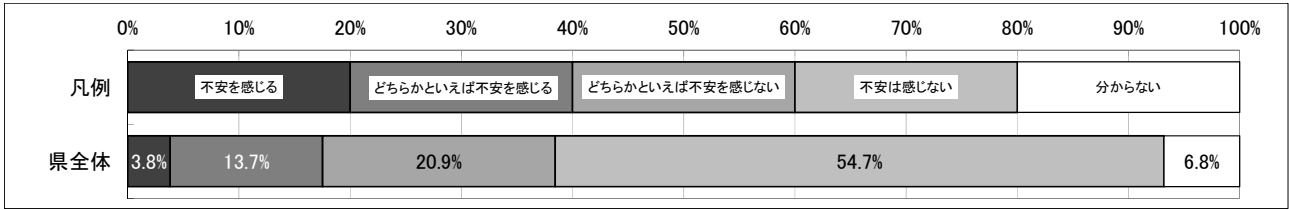


図 8 防犯カメラ設置に不安を感じる理由 (県全体・地域別)

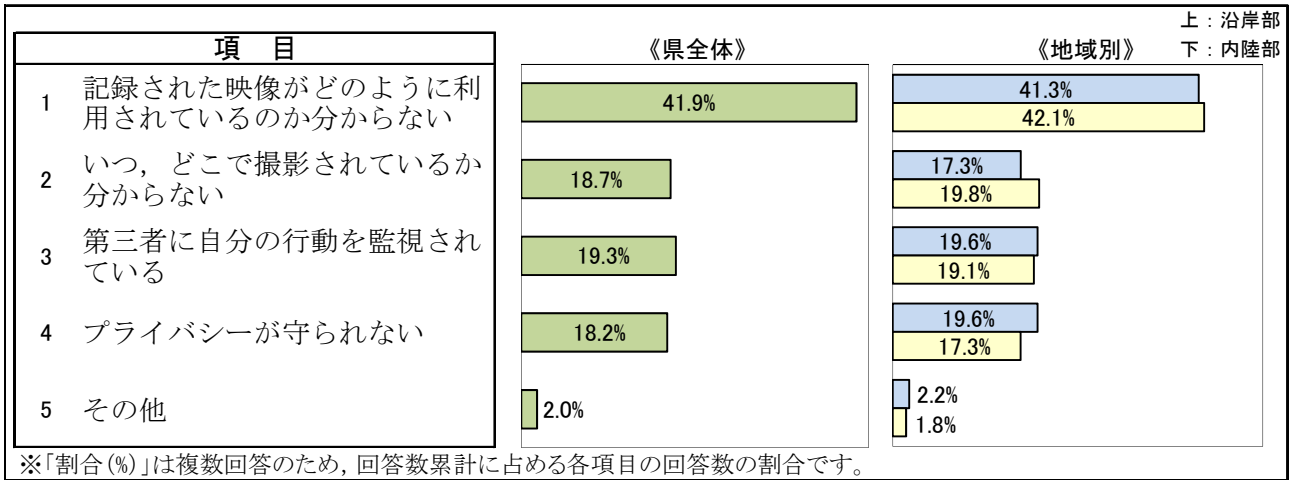
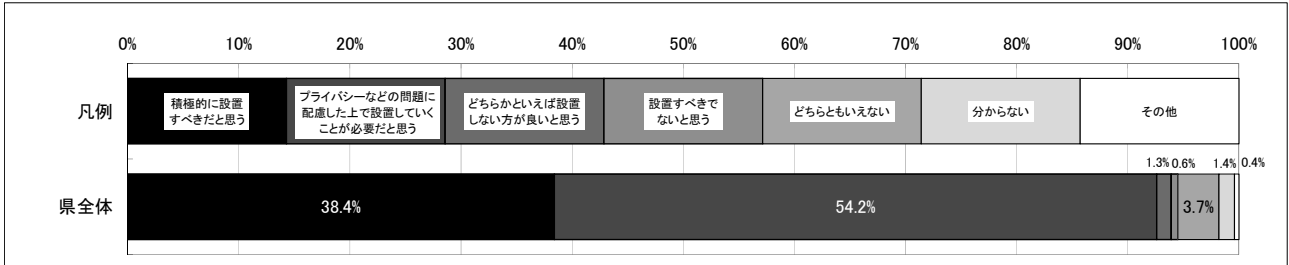


図 9 防犯カメラ設置の必要性 (県全体)



(2) 障害を理由とする差別等について

調査結果の概要

【「障害者差別解消法」の認知について】

○県全体で、「障害者差別解消法」の認知について回答している割合は、「知っている (36.0%)」、「知らない (64.0%)」となっています。

【障害を理由とする差別の経験等について】

○県全体で、障害を理由とする差別の経験等について回答している割合は、「自分自身が経験したことがある (4.1%)」、「居合わせたことがある (16.2%)」、「ない (79.7%)」となっています。

【障害を理由に差別された又は居合わせた場所】

○県全体で、障害を理由とする差別の経験等について「自分自身が経験したことがある」又は「居合わせたことがある」の回答のうち、「差別された又は居合わせた場所」の割合が最も高かったのは、「学校・塾(17.9%)」で、次いで「病院・福祉サービス事業所 (16.9%)」、「職場 (16.2%)」の順となっています。

【障害を理由とする差別の内容】

○県全体で、障害を理由とする差別の経験等について「自分自身が経験したことがある」又は「居合わせたことがある」の回答のうち、「差別の内容」の割合が最も高かったのは、「障害のある人に対する偏見を感じるような対応をすること(45.6%)」で、次いで「障害のある人が困っているときに手助けしないこと(23.6%)」、「障害のある人とのコミュニケーションに配慮しないこと (17.2%)」の順となっています。

図 10 「障害者差別解消法」の認知について (県全体)

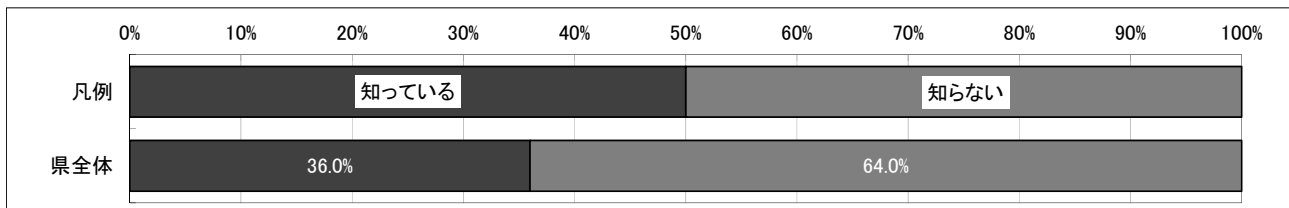


図 1 1 障害を理由とする差別の経験等について (県全体・地域別)

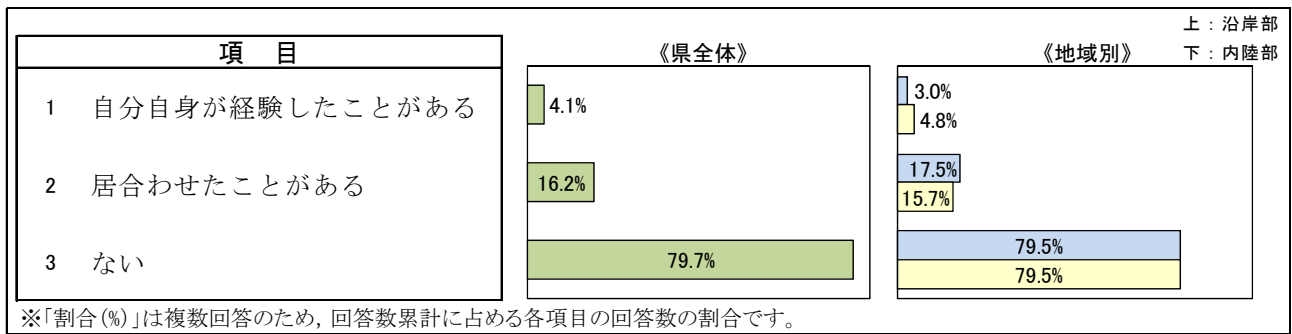


図 1 2 障害を理由に差別された又は居合わせた場所 (県全体・地域別)

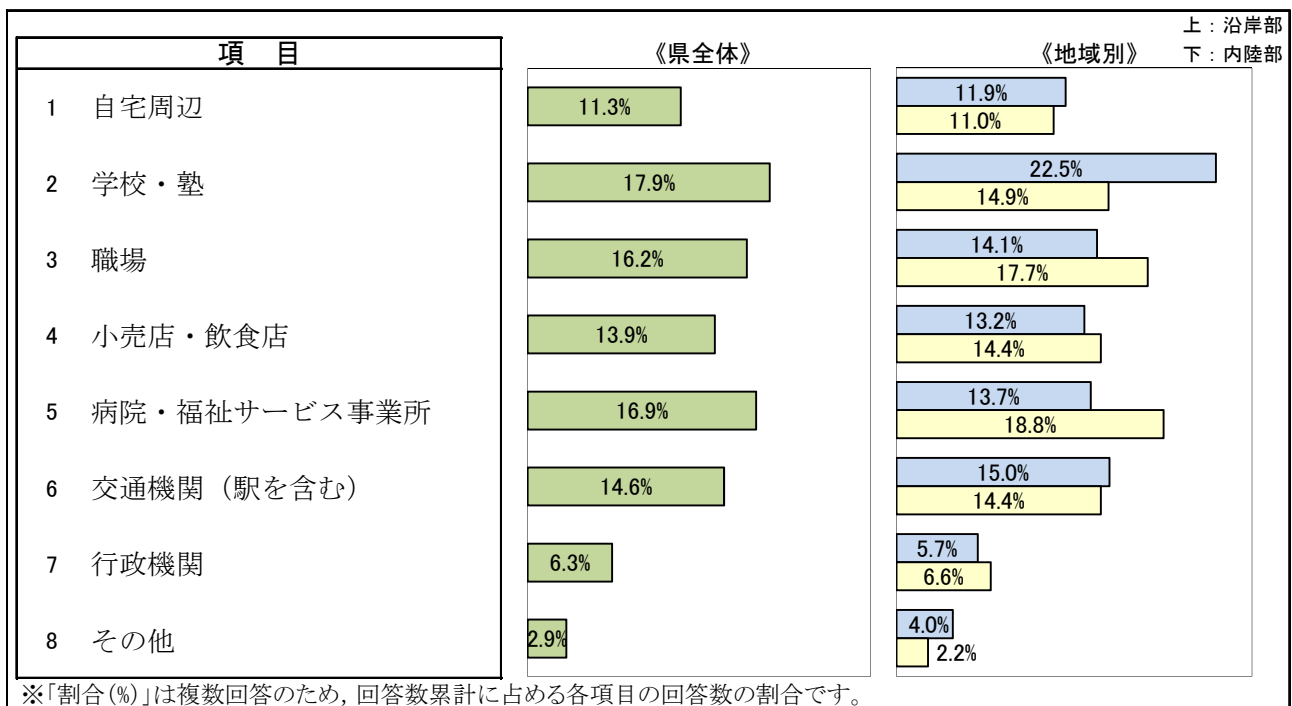
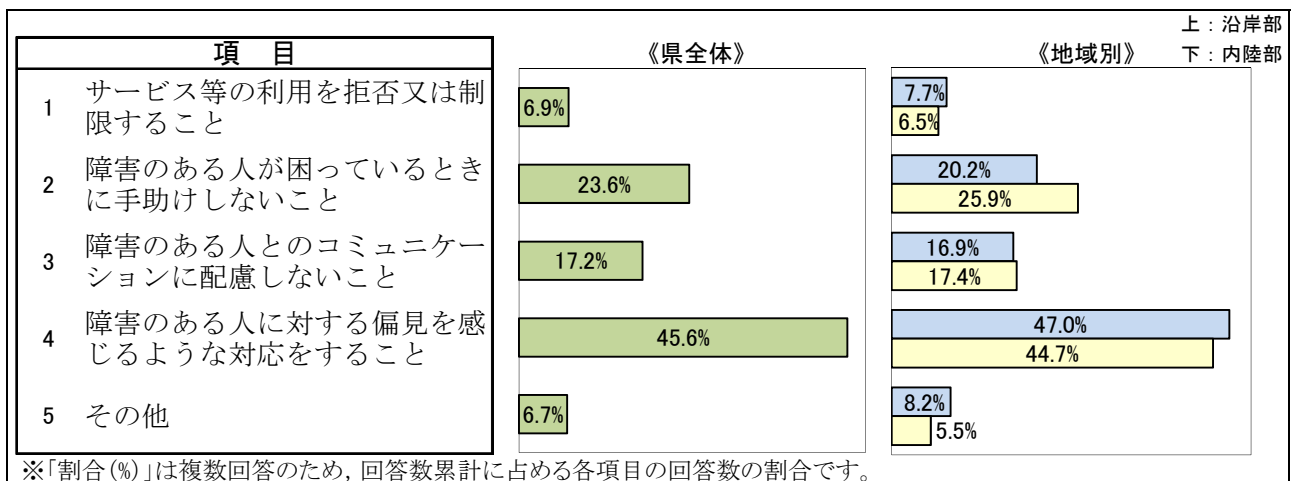


図 1 3 障害を理由とする差別の内容 (県全体・地域別)





むすび丸

復興へ
頑張ろう!
みやぎ